



福祉のまち だより

第57号



令和5年12月12日発行

太平百合が原地区福祉のまち推進センター

元気いっぱい 楽しさいっぱい

「親子で遊ぶ るんるんサロン」 12月9日

今年度2回目の親子で遊ぶ「るんるんサロン」が12月9日(土)に太平百合が原地区センター1階体育室で開催されました。小雨がぱらつく、あいにくの天気でしたが、大勢の親子が集まり、おもちゃや工作、出し物などを思い思いに楽しんでいました。保護者の方にも手伝って頂いた「パラバルーン」には子どもたちが大はしゃぎ「もっと遊びたかったよ」と名残惜しむ子どもも見られるほどでした。



生活支援ボランティア協力会員募集中

【サポートたいゆり】は地域の方のちょっとした困りごとのお手伝いをするボランティア組織です。

生活支援ボランティア協力会員の登録者を募集中です。

空いている時間にお手伝いをしていただけませんか？ お手伝い項目は右記の通りです。

登録、お手伝いの要望は、毎週水曜日の13時30分より15時30分の間に
Tel 771-2728 まで連絡ください

1 ゴミ出し(短時間)	10 重いものの移動
2 洗濯	11 見守り安否確認
3 買い物代行	12 パソコン操作
4 掃除	13 遺影の撮影
5 電球交換	14 子どもの一時預かり
6 散歩同行	15 子どもの緊急時送迎
7 話し相手	16 病院の付き添い
8 裁縫繕い物	17 留守中のペットの散歩・餌やり
9 日曜大工(簡単修理)	
有償リスト	
18 草むしり	19 樹木や花壇の手入れ
20 除雪	

たんぽぽ福祉の会 豊平川さけ科学館見学

—ふれあい交流活動紹介—

たんぽぽ福祉の会では、ふれあい交流活動として、脳トレ・健康体操などのサロンを年4回、施設見学・昼食会などの「旬の会」を春と秋に各1回行っています。

去る11月16日「秋の旬の会」は「豊平川さけ科学館」の施設見学を行いました。

豊平川で生まれたサケは、川では餌が少ないため、外敵は多いが豊富な餌を求めてオホーツク海など北太平洋を2-4年かけて回遊し、大きく成長して川に戻ってきます。

サケの遡上は大変過酷で生存率が5%以下と言われています。仮に1万匹放流した場合、川に戻ってくるのは50匹だそうです。

このような「サケの生態」に改めて感動しました。お昼はレストランで昼食会、イタリア料理とおしゃべりで楽しんだ1日でした。



令和5年度福祉のまち推進センター

福祉活動者のための三地区合同セミナー

10月20日(金) 太平百合が原地区センター

見守り活動をどのように行うか

内外太平福祉の会 加納賢さん、北王第7町内会福祉部 柴垣則子さん、
ひまわり福祉の会 岩田隆さん、太平商工団地福祉の会 高橋静江さん、
第4太平町内会福祉の会 竹山泰記さん



以上の5名の方に各福祉の会の見守り活動の実状、問題点、疑問点などを発表・提供していただきました。その後各テーブルに移り、自分の町内会福祉の会の実情などを話し合いました。

福祉活動者の高齢化、福祉活動の後継者不足、福祉活動における個人情報のことなどの悩みが多く出されていました。福祉活動者のほか、第2包括支援センター・北区社協、介護予防センターの各担当者のご協力もあり、27名の参加者となりました。

これからの福祉活動を考える機会になる非常に有意義なセミナーでした。

